

私とおの100

おの100は子どもたちをサポートするだけでも、100kmをただ完歩するだけでもないボランティアです。強い思いを持って自他共に成長することで、本当のゴールが出来るものだと感じました。私は、おの100で沢山のことを学び・変わりました。ここでは書ききれない程の経験をさせてもらいました。その一部を書きたいと思います。

「人を好きになる事 = 自分の成長に繋がる」

私は普段は明るくのんびりとした性格ですが、心の内はかなりネガティブ思考や変に真っ直ぐすぎる堅い思考がありました。ですが、おの100に参加してからは内面からのポジティブ思考が生まれました。改めて感謝の念を持つことを意識するようになり、何事も有難く感じることで前向きになれるのです。決して無理に違う考えを自分に植え付けたわけではありません。では何故20年間も変わることもなかった性格がたった3カ月程で変えられたのでしょうか。それは自分自身で変わろうとし、自分を見つめ直すと同時に沢山の人の考え方を心で見たからだだと思います。

おの100でKAKIさんの教えや、65人もの仲間の良いところ・悪いところを見ることから、改めて自分の在り方を考えることができます。おの100の仲間皆を好きになり、皆と心から真剣に関わる事が出来ました。人は自分だけ見ているは何もわからないのだと思いました。人と人との繋がりの大切さを感じ自分から人と関わりたいと思えるようになっていた自分でした。

「少しでも自信のないものは始めない = もったいない」

私は、何かを始めると必ず完璧にやり遂げなければ気が済まない性格です。だからこそ始めはこのおの100に参加しようかどうかとても悩みました。何故かと言うと、完璧に参加できるかどうか不安だったから...。1つは持病に喘息を持っているため本隊に付く係りができないこと。もう1つはアルバイトを土曜日と日曜日にしていたこと。でもそんな事で何かのチャンスを逃すのが嫌で、コンプレックスである持病に勝ってやろう、自分で自分を変えるんだ！！と覚悟を決めました。アルバイトのシフトもお願いして大幅に変更してもらい、家族にも断りを入れ、皆に自分はここまでしてでも参加したいのだという姿勢を見せました。

自分は今まで出来ることを選んで確実にゴールしてただけで、ゴールが見えないものに向かって粘り強く頑張ることを避けてきたのかも知れません。苦手だからやらない・出来なくても仕方ないと思うのではなく、苦手だからこそやってみて・とことん頑張っ自信を得ることで苦手なことが克服されるのだと思います。始めないのは自分で変わろうとしていないと言う印であることに気がついたのです。やるかやらないかを決めるのも大切ですが、それでは逃げてしまう自分がいるかもしれません。ですから、やって突き進めばいい！楽しくやっていたら必ず出来そうもなかったことに対してもゴールを見つけ、進んでいく新しい自分が見えてくると思っています。

もしあの100への参加に迷いを持つ人や、他の何かで一步を踏み出せずに戸惑っている人が私の目の前にいたら私は背中を押してあげたいと思います。始めないと何も得られないよ、と。